

# 全国被災地交流集会「円卓会議」

令和2年7月豪雨災害によって九州では甚大な被害がでた。しかし、コロナ禍において「不要不急」が叫ばれ、一般ボランティア募集は県内に限定された。多くの専門性をもった外部支援団体や経験のあるボランティアらが被災地へ入ることを躊躇し、県内の支援団体が試行錯誤しながら活動を行っている。その中で高校生や大学生など地元の若者が奮闘をしている。阪神・淡路大震災においても多くの若者が被災地を訪れ被災者と支援に携わった。第1部ではボランティア活動をする学生の声を聴く場とする。さらに第2部では経験を培った外部の支援団体が入れない中、地元のネットワークのなかで奮闘している当事者らの声を聴く場とする。

日程 2021年 **1月9日(土)** 13:00~17:30

場所 関西学院会館レセプションホール (兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155)

テーマ: **Withコロナと災害ボランティア**  
—立ちすくむ社会から見出す新たなつながり—

## [第1部] 学生円卓会議 —私たちの復興— (13:00~14:45)

### ●被災地からの発信

山北 翔大(熊本学園大学社福災害学生ボランティアグループ代表)  
時田 萌美(秀岳館高等学校)  
松村 光河(秀岳館高等学校)  
横尾 拓海(熊本大学D-SEVEN)  
山口 泰輝(大分大学 学生 CERD)

### ●被災地応援側

吉村 冴(関西学院大学熊本地震現地ボランティア参加者)  
神保 千琴(関西学院大学熊本地震現地ボランティア参加者)  
池澤 奈己冴(ワカモノチカラプロジェクト代表)  
久保田 直樹(ワカモノチカラプロジェクト)  
原 康介(兵庫県立舞子高等学校環境防災科)  
是友 実和(兵庫県立舞子高等学校環境防災科)

### ●コメント

宮本 匠(兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科准教授)

## [第2部] Withコロナと災害ボランティア

—立ちすくむ社会から見出す新たなつながり— (15:00~17:00)

### ●被災地からの発信

鈴木 隆太(一般社団法人おもやい代表理事)  
山崎 水紀夫(さんすい防災研究所代表)  
河井 昌猛(NPO法人リエラ副代表理事)  
高林 秀明(熊本学園大学社会福祉学部教授)  
藤井 ゆみ(NPO法人ななうらステーション理事長)

### ●阪神・中越・東北からの知恵

稲垣 文彦(公益社団法人中越防災安全推進機構業務執行理事)  
船戸 義和(岩手大学復興・地域創生ユニット特任助教)  
室崎 益輝(兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長・教授)  
津久井 進(弁護士)

### ●コメント

宮原 浩二郎(関西学院大学社会学部教授・災害復興制度研究所初代所長)  
長岡 徹(関西学院大学法学部教授・災害復興制度研究所所長)  
山 泰幸(関西学院大学人間福祉学部教授・災害復興制度研究所副所長)  
司会: 斉藤 容子(関西学院大学災害復興制度研究所主任研究員・准教授)

全体討論会 (17:00~17:30)

この事業は「公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構」補助金を財源とする「ひょうご安全の日推進県民会議」の助成を受けて事業を行っています。

